

みどころ Mikiyama

令和4年7月下旬

三木山森林公園 検索

カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

ネジキ、リョウブ、アキノタムラソウは園内各所で見られます。

キキョウ、カワラナデシコは下池周辺で見られます。

ナツフジが見られます。

ミツバアケビの若い実が見られます。

コジキイチゴが見られます。

コマツナギ、キキョウが見られます。

ヤブカンゾウが見られます。

セイヨウニンジンボクが咲いています。

カノコユリが咲いています。

又マトラノオが咲いています。

スミレホコリタケが見られます。



ショウジョウトンボの雄 (トンボ科)

真っ赤なトンボです。



カワラナデシコ (ナデシコ科)
秋の七草の一つです。



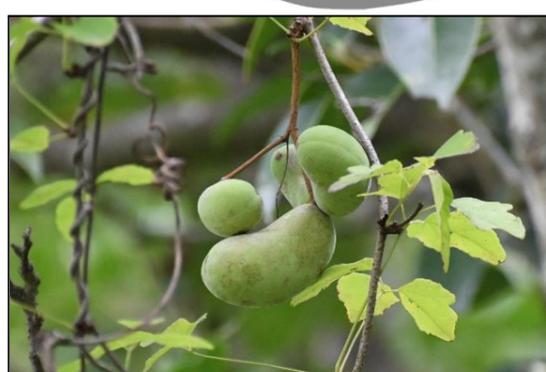
キキョウ (キキョウ科)
秋の七草の一つです。

セイヨウニンジンボク (シソ科)
淡い青色の花を咲かせています。



コマツナギ (マメ科)
駒繫ぎ

和名は馬を繋げるくらい幹が丈夫なことからこう名付けられているそうです。



ミツバアケビの若い実 (アケビ科)

若い実が立派に育っています。



ハナハマセンブリ (リンドウ科)

帰化植物ですが、遠くからでもよく目立ちます。



ヤブカンゾウ (ツルボラン科)

科名がユリ科→ススキノキ科→ツルボラン科と変わってきているようです。



カノコユリ (ユリ科) 鹿の子百合
花弁の鹿の子模様からこの名前が付けました。



リョウブ (リョウブ科)

開花中です。



ネジキの若い実 (ツツジ科)

実が成熟すると緑色から茶色になり裂開します。



アキノタムラソウ (シソ科)

園内各所で見られます。学名は *Salvia japonica* です。

莖や枝に密生する紅紫色の腺毛とかぎ状の刺が目立ち、太陽に向かって逆光にして見ると大変美しいです。和名については「甌苺 (コジキイチゴ) → 乞食苺 (コジキイチゴ)」となったという説があります。なお「甌 (こしき)」とは、「穀物などの蒸し器」とのことです。

コジキイチゴ (バラ科)



スミレホコリタケ (ホコリタケ科)



ゴルフボールに似ているので、発生するとすぐ蹴飛ばされてしまいます。しばらくすると紫色の胞子が飛び始めます。イベント広場で見られます。



又マトラノオ (サクラソウ科) 沼虎の尾
和名は湿地に生える尾状花序の植物を表しています。